

# 競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2019年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。  
なお、2019年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集 ○トラック競技は20分前、走高跳・走幅跳・砲丸投は40分前、棒高跳は100分前を招集時刻とする。  
（ただし走高跳、走幅跳、砲丸投の決勝は競技時間の30分前とする。）  
○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。  
○他の種目と競技時刻が重なる場合には、最初の種目の招集時に招集所の審判にその旨を告げておくこと。  
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。  
○招集所は競技場内の雨天走路（100mスタート付近）とする。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。（ウォームアップ場使用上の注意 参照）
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。
6. 競 技 順 予選はプログラム掲載順とし、決勝のレーン順・試技順は抽選による。
7. オーダー用紙 ○リレーに出場するチームは、オーダー用紙を招集所で受け取り、大会1日目の28日12:00までに招集所に提出すること。その後の選手変更については、審判長に申し出ること。  
○エントリーした6人以外が予選で走る場合には、出場種目と組を記入すること。
8. トラック競技 ○不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。  
○準決勝、決勝の場合、1レース8名で行う。ただし、同記録で、1レース8名を超えた場合は、0.001秒まで着差判定を行い進出者を決定する。それでも決められない場合は抽選とする。また、1500mは15名で決勝を行う。  
○男子200m、400m、女子200m、男女4×100mは予選をタイムレースとする。  
○3000mはタイムレース決勝とする。  
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
9. フィールド競技 走高跳、共通走幅跳、砲丸投は予選を行う。走高跳の予選通過記録は男子1m70、女子1m50とする。共通走幅跳の予選通過記録は男子6m00、女子5m00とする。砲丸投の予選通過記録は男子10m60、女子10m60とする。尚、予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、予選12位までの者で決勝を行う。走幅跳、砲丸投の決勝は3回の試技の結果、上位8名は成績の低い順に更に3回の試技が許される。

1年走幅跳は男子をバックスタンド側ピット、女子をメインスタンド側ピットで行う。  
1年走幅跳は予選を行わない。

10. バーの上げ方	男子走高跳予選	145	150	155	160	165	170
	女子走高跳予選	125	130	135	140	145	150
	男子走高跳決勝	165	170	175	180	185	以後 3cm
	男子棒高跳決勝	260	280	300	320	340	以後 10cm
	女子走高跳決勝	140	145	150	155	160	以後 3cm

(当日変更する場合もある)

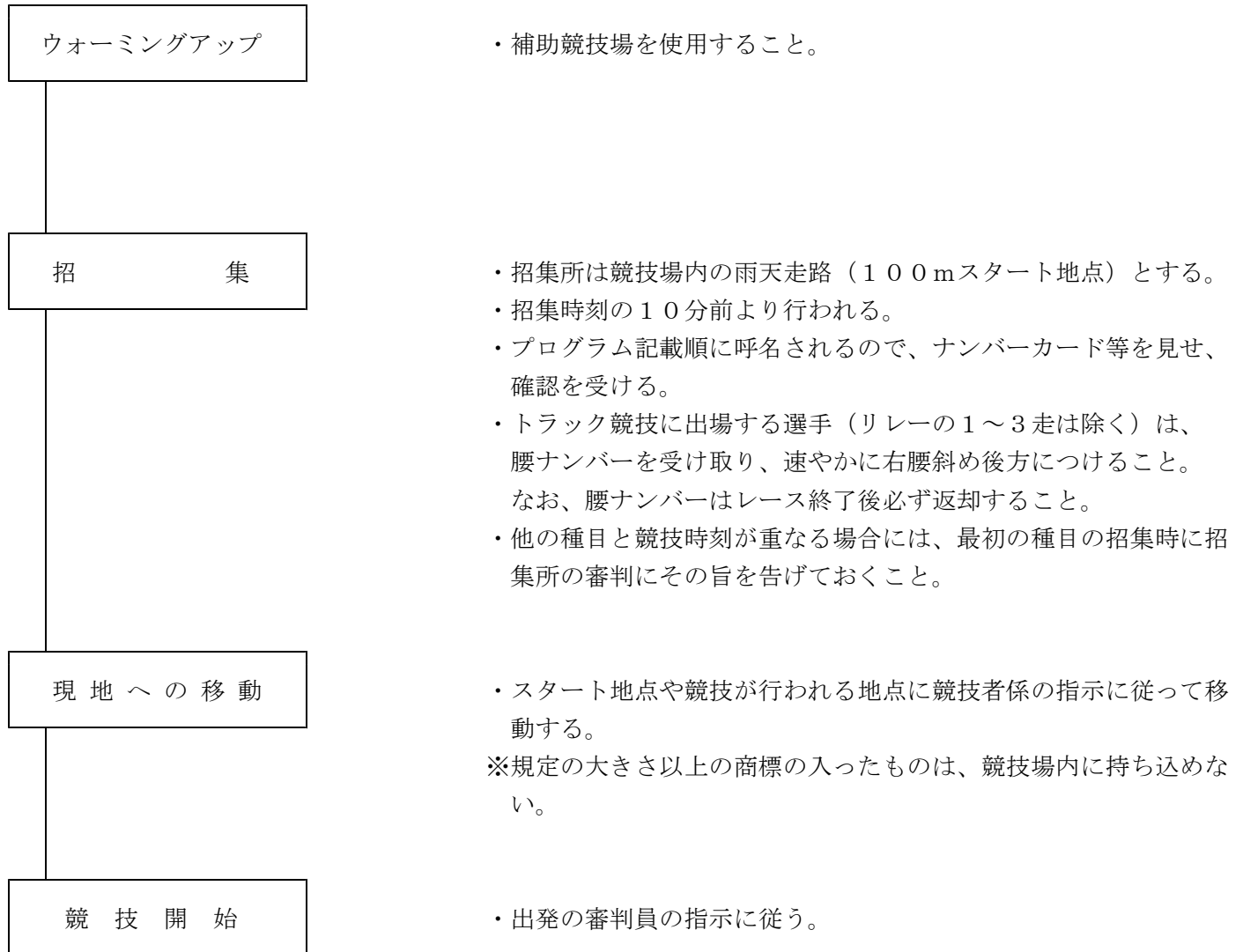
11. スパイク      トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。

12. 表彰
- 男女とも総合優勝には賞状・優勝旗、2～8位に賞状を授与する。
  - 各種目の1～3位にメダルと賞状、4～8位に賞状を授与する。
  - 学校対抗とし、1位～8点、2位～7点・・・8位1点とする。同点の場合は、上位入賞者の多い学校を上位とする。それでも同じ場合は、リレーの上位の学校を上位とする。
  - 各種目入賞者は、競技終了後係員の指示に従い、表彰席へ移動する。
  - 表彰に参加できない場合は、必ず代理を立てること。

13. その他
- 当日の選手変更は一切認めない。
  - 競技する選手以外は競技場内に立ち入ることができない。
  - 関東大会出場者については、通信陸上競技大会と総合体育大会の結果で強化委員会が決定する。
  - 本大会の男女リレーの優勝チームは全国大会に出場できる。また、上位3位までのチームは関東大会へ出場できる。
  - 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
  - 競技する選手以外は、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
  - 更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置かない。
  - 空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
  - 応援幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。
  - テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。
  - 大型映像装置側のサイドスタンドは、映像装置前にテント・のぼり設置を禁止する。
  - ウォームアップ場には、設置してある用器具以外は持ち込まないこと。
  - メインスタンドでは、手すり際に立っての応援や集団での応援は禁止する。
  - 中学生は、原則として競技場内で携帯電話を使用しないこと。
  - トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する7・8・9・10・11チャンネルの使用を禁止する。
  - 熱中症予防のため、選手は適宜水分補給を行うなどの体調管理に気を付けること。  
なお、競技前に具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。
  - 応援する生徒についてもこまめに水分を取り、日陰に入るなどして適宜休憩をとること。  
なお、具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。

# 選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



※リレーについて

①招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。

②オーダー用紙を招集所で受け取り、大会1日目の28日12:00までに招集所に提出すること。その後の選手変更については、審判長に申し出ること。